岐阜高専と東濃信用金庫が産学連携協定を締結

岐阜高専は、７月２９日に東濃信用金庫と産学連携協定を締結した。

この締結により、岐阜高専は岐阜県内の金融機関との産学連携協定は６例目となる。

締結式には、東濃信用金庫からは市原理事長、林営業統括本部長、田牧営業統括部長、佐藤とうしん地域活力研究所所長が、岐阜高専からは榊原校長、臼井副校長（研究主事）、所地域技術開発・教育センター長が出席した。

岐阜高専は、東濃地域における特許を含む知的財産の活用や技術力の向上を目指す企業、及びベンチャー企業に対して、ビジネスチャンスを提供できるように技術や人材育成を支援する。また、企業からのニーズと岐阜高専のシーズを有機的に結び付けるとともに、地域経済の活性化を目標として、東濃信用金庫の顧客企業と岐阜高専が情報交換などを随時行い、産学官のネットワークを構築する予定である。

握手を交わす、市原東濃信用金庫理事長（左）と榊原校長